

商 工 観 光 労 働 部

商工観光労働総務課

I 商業総務費

1 わかやま館管理運営事業 66,616 61,549

わかやま館の管理運営を行った。

II 計量検定費

1 計量器検定・指導啓発事業 15,020 12,273

計量器等の検定・検査及び計量関係事業者の指導等を行った。

主 な 項 目	個 数
特定計量器検定・検査 (タクシメーター、燃料油メーター等)	2,434 個
はかりの定期検査	3,175 個
燃料油メーター立入検査	653 個
石油ガスメーター立入検査	11,719 個

商 工 振 興 課

I 商業振興費

1 小規模事業経営支援事業 1,198,016 1,190,880

小規模事業者の振興と経営の安定を図るため、商工会、商工会議所及び県商工会連合会に経営指導員等を設置し、記帳の機械化、情報化の推進及び広域的・専門的な指導を行った。また、小規模事業者の福祉推進、技術力向上及び若手後継者育成等の支援を行った。

事業区分	主 な 項 目	件 数 等
商工会等	指導員による巡回指導件数	34,678件
	指導員による窓口指導件数	36,869件
31商工会	金融の斡旋(件数)	1,023件
	(金額)	8,015百万円
7商工会議所	講習会の開催回数	1,106回
	小規模企業振興委員活動事業	7商工会議所
県商工会連合会	エキスパートバンク事業	1商工会議所、県連合会
	広域振興等地域活性化事業	県連合会
	経営安定特別相談事業	1商工会議所、県連合会

2	中小企業団体支援事業	96,259	96,250
3	サービス産業県外市場開拓支援事業	2,374	1,555
4	eコマース推進事業	2,191	1,960
5	事業承継サポート事業	718	420

事業協同組合、商工組合等の中小企業団体の組織化の推進及び指導育成を図るため、和歌山県中小企業団体中央会に補助を行った。

主 な 項 目	件 数 等
組合等の指導事業	
組合等の指導件数	1,722件
組合等の相談件数	2,561件
個別専門指導	1回
組合特定問題講習会の開催	3回
地域産業実態調査事業	中小企業労働事情実態調査 1回 地域問題実態調査 1回
活性化情報提供事業	毎月発行 700部×12箇月

県内サービス事業者が、より一層の市場開拓を目指し、県外の大消費地等へ進出するため、3企業に対し補助を行った。

EC市場への新規参入を目指す県内事業者の裾野拡大と事業者の競争力強化・売上拡大を目指し、シンポジウム・講習会を開催した。

県内事業者に対し、事業承継対策の重要性を周知するためのセミナーを開催した。

II 金融対策費

1	中小企業融資制度実施事業	77,801,185	55,661,835
---	--------------	------------	------------

県内中小企業者が、経営の安定化や事業の活性化に必要な資金を円滑に調達できるよう、金融機関及び信用保証協会と協力して融資を行った。

制 度 名		新規融資実績	
		件 数	金 額
振興対策資金	一 般	634	5,864,930
短期決済資金	一 般	111	1,076,800
経営支援資金	一 般	32	406,900
	緊急支援	106	1,441,910
小企業応援資金	一 般	120	667,200
	小 口	773	1,978,246
	特 小	21	53,500
新規開業資金	創 業	127	564,100
	創業サポート	23	119,790
資金繰り安定資金	借 換	1,254	19,311,864
	緊急支援	166	3,270,299

制 度 名		新規融資実績	
		件 数	金 額
	経営力強化	2	26,568
	再生計画	55	1,172,816
成長サポート資金	チャレンジ応援	3	41,300
	事業承継支援	1	6,000
安全・安心推進資金	エネルギー政策推進	31	416,250
合 計		3,459	36,418,473

過年度融資残高 (平成30年3月31日現在)	件 数	金 額
	15,029	97,988,492

2 信用補完制度実施事業 286,954 286,954

中小企業の金融円滑化のため、信用保証料の軽減及び代位弁済に係る損失補償を行った。

制 度 名	実 績 額
信用保証料補助	239,185
損失補償補填	47,769

Ⅲ 工 鉱 業 総 務 費

1 石油貯蔵施設立地対策事業 190,078 189,453

石油貯蔵施設周辺地域住民の福祉の向上を図るため、石油貯蔵施設の設置に伴う市町の公共用施設整備に対して補助を行った。

市 町 名	金 額	公 共 用 施 設 種 別
和歌山市	5,049	消防施設
海 南 市	77,819	消防施設、防災道路、医療施設等
有 田 市	82,845	消防施設、都市公園施設、防災道路等
紀の川市	3,031	消防施設
紀美野町	2,614	消防施設
湯 浅 町	5,333	消防施設
有田川町	12,494	消防施設
事 務 費	268	

労働政策課

I 労政総務費

1 労働関係等調査事業	1,396	1,209
2 労働教育指導事業	1,910	1,376

労使関係総合調査及び労働条件等実態調査を行った。
労働セミナー及び企業への人権研修会を開催した。

II 労働福祉費

1 労働者福祉協議会助成事業	2,330	2,330
2 勤労福祉会館管理運営委託事業	24,498	24,115

勤労者福祉の向上に寄与するため、労働者福祉協議会が行う労働者福祉まつり、講演会及び研修会に対する助成を行った。
勤労福祉会館「プラザホープ」の管理運営を（一財）和歌山県勤労福祉協会へ指定管理委託した。

III 雇用促進費

1 障害者雇用対策事業	3,664	3,535
2 産業を支える人づくりプロジェクト事業	34,057	31,855

ジョブサポーターの育成・派遣及び障害者雇用の啓発活動の実施により、障害のある人が就業しやすい環境整備を行った。
〔高校における産業人材の育成〕
県内のものづくり企業と連携して各工業高校（5校）にネットワークを構築し、講師派遣や技術指導、企業見学やインターンシップ、企業説明会等の人材育成事業を実施した。

・参画企業数：135社

また、工業高校以外の高校においても企業説明会等企業と連携した取組を実施した。

〔大学生等のUIターン就職の促進〕

県内企業の求人情報等を収集し、県外に進学した大学生等に、ホームページやガイドブック、また、大学のキャリアセンターや就職セミナーを通じて情報提供するとともに、県内企業でインターンシップを実施し、UIターン就職を促進した。

3 働く女性支援事業	6,345	5,328
------------	-------	-------

仕事と家庭の両立ができる働きやすい職場環境づくりの促進や女性の就業継続に向けた取組を支援した。

・助言を行う専門家を企業に派遣 派遣企業数 30社

・ワークライフバランスセミナーの実施 参加者数 245人

・専用ホームページによる企業の取組情報紹介 企業数 13社

4 和歌山再就職支援「就活サイクル」プロジェクト事業	51,413	50,896
----------------------------	--------	--------

結婚や出産等で離職した女性、定年退職した方、都会で働く人などの再就職を支援するため、2月を「就活強化月間」とし、4月の就職を目指す和歌山県独自の「就活サイクル」を構築するとともに、再就職支援センターにおいて、個別相談、再就職の不安を払

拭するセミナー等を実施した。

- ・合同企業説明会 参加企業数 延べ174社 参加者数341人

また、ジョブカフェわかやまにおいて、若年者に対し、キャリアカウンセリング、就職支援セミナー等総合的な就職支援を実施した。

IV 産業技術専門学院費

1 産業技術専門学院運営事業	40,253	36,361
2 委託訓練事業	178,271	140,926
3 産業技術専門学院の機能強化事業	2,161	1,562

主に新規学卒者を対象にした職業訓練を実施し、若手技能者の育成を行った。

- ・和歌山産業技術専門学院 23,314
- ・田辺産業技術専門学院 13,047

離転職者等を対象にした職業訓練を民間教育訓練施設等への委託により実施し、就業促進を図った。

県内産業の発展に寄与する時代ニーズに対応した人材を育成するため、田辺産業技術専門学院の自動車工学科の定員増に伴う実習場拡張の実施設計を行った。

企業振興課

I 貿易振興費

1 国際経済交流支援事業	11,118	9,608
--------------	--------	-------

[中国ビジネスコーディネーター]

- ・コーディネーター

氏名：陳 進躍 (Chen Jin Yue ちん・しんやく)

略歴：90～94年 ジェトロ上海

以降、日系企業駐在員など、現在はフリーの国際ビジネスコンサルタント

- ・事業内容 (コーディネーターの活動内容)
中国情報の提供、マッチング支援、ビジネスアドバイス等
- ・事業実績

商談通訳や現地法人設立に関する相談等10件のサポートを実施
来県時に企業訪問 (2社)、個別相談会 (参加企業5社) を開催

[和歌山国際経済サポートデスク]

県内企業の国際化を推進するため、(公財)わかやま産業振興財団に委託し、和歌山国際経済サポートデスクを設置した。

- ・事業内容：貿易・投資相談、情報収集・提供及びセミナーの開催
- ・事業実績：貿易・投資相談 180件

セミナー開催 9回 参加者 364人

※セミナー件数はジェトロ和歌山貿易情報センター共催分2回を含む。

〔海外ビジネス実現支援（商社OB等派遣）〕

県内企業の海外ビジネスに関する支援希望内容に応じて、海外経験豊富な商社OB等を派遣した。

- ・事業内容：海外販路開拓アドバイス、業務提携等の支援、現地通訳、商談同行
- ・事業実績：支援件数58件（支援企業7社）

II 物産観光斡旋費

1 優良県産品（プレミアム和歌山）振興事業

40,602

36,371

優れた県産品を選定・推奨し、和歌山県産のブランドイメージの確立を図るため、推奨品の認定を実施するとともに、各種商談会・イベントへの参加などを通じて制度及び認定推奨品のPRを行った。

- ・第10回認定 67品目（56事業者）

プレミアム和歌山推奨制度のブランド化、推奨品の販売促進を図るため、著名人や有名ホテルを活用したPRや首都圏を核とした販売促進活動を展開した。

〔プレミアム和歌山セレモニーの実施〕

平成29年11月28日、ホテル椿山荘東京（東京都文京区）において、メディア関係やバイヤーなど情報発信力のある方約230人を招き、プレミアム和歌山推奨品についてのPRイベントを開催した。

〔プレミアム和歌山パートナー制度〕

泉麻人（コラムニスト）、荻野アンナ（作家・仏文学者）、幸田真音（作家）、鈴木光司（作家）、クミコ（歌手）、弘兼憲史（漫画家）、山本一力（作家）の7人に就任していただき、情報発信をお願いした。

〔プレミアム和歌山プロデュース〕

審査委員特別賞を受賞した事業者に対し、審査委員の個別アドバイス及びプロデュースを行った。

〔首都圏等での販売促進〕（食品流通課実施分）

- ・三井食品（株）の客先企業等を対象とした食品・酒類の展示会に県ブースを出展した。

（平成29年6月21日～22日 4事業者出展）

- ・通販・ギフト関係者との商談を目的とした通販食品展示商談会に出展参加した。

（平成29年9月26日～27日 8事業者出展）

- ・物産店舗「わかやま紀州館阪急梅田店」を期間限定でオープンした。

（平成29年10月6日～17日 51事業者出展）

- ・首都圏から8社のバイヤーを招へいし、県内事業者の視察訪問、商談会を実施した。

- (平成29年10月23日～25日、11月21日～23日)
- ・東急百貨店吉祥寺店で和歌山フェアを開催した。
- (平成30年2月15日～21日、5事業者出展)
- ・京北スーパー柏店で和歌山フェアを開催した。

2 わかやま産品魅力再発見事業 7,500 7,225

県産品のブランド力向上と販路拡大のため、(株)三越伊勢丹との協働により、県産品のブラッシュアップと首都圏でのプロモーションを実施した。

- ・参加 16事業者(工芸品7、食品9)

三越日本橋本店で工芸品、食品のプロモーションを行った。

(平成29年11月1日～14日、平成30年2月14日～19日)

Ⅲ 中小企業振興費

1 地場産業等総合振興事業 5,247 4,500

地場産業団体の育成指導、景気動向調査を行うとともに、経済団体及び産地組合が実施する販路開拓等の事業に対し、経費の一部を補助した。

[地場産業活性化支援]

- ・補助金交付件数 2件
- ・補助事業内容 販路開拓(海外展示会への出展参加及び海外市場調査)

2 皮革産業総合振興事業 12,843 12,167

[零細皮革産業技術指導]

皮革産業の体質強化を図るため、零細皮革企業を対象に、技術指導員が品質管理・技術習得等の巡回技術指導を行った。(年間延べ2社)

[東京レザーフェア出展参加]

皮革製品の需要開拓を図るため、国内最大の見本市である東京レザーフェアに出展参加した。

名称	開催期日	出展企業数	開催場所
第96回 東京レザーフェア	平成29年 5月25日～26日	9社	東京都立産業貿易センター

名称	開催期日	出展企業数	開催場所
第97回 東京レザーフェア	平成29年 12月6日～7日	9社	東京都立産業貿易センター

[異業種見本市出展参加]

異業種への新規市場開拓を図るため、国内最大の繊維総合見本市であるジャパングリーションに出展参加した和歌山県製革事業協同組合に対し、経費の一部を補助した。

名称	開催期日	出展団体	開催場所
ジャパン クリエーション	平成29年 11月28日～29日	和歌山県製 革事業(協)	東京国際フォーラム

〔オールチャイナレザーエキシビション出展参加〕

本県皮革産業の技術のPRと最新の情報の収集を行うため、世界的規模で集客力のあるオールチャイナレザーエキシビション（上海）に出展参加した和歌山県製革事業協同組合に対し、経費の一部を補助した。

名称	開催期日	出展団体	開催場所
オールチャイナレザ ーエキシビション	平成29年 8月30日～9月1日	和歌山県製 革事業(協)	上海新国際エキスポセンタ ー

〔皮革産地展示会開催〕

和歌山産皮革製品の優れた点を広く一般消費者に訴えるとともに、和歌山市中央コミュニティセンターで展示会を開催した和歌山県製革事業協同組合に対し、経費の一部を補助した。

名称	開催期日	主催者	開催場所
和歌山レザー フェスティバル	平成29年 11月25日～26日	和歌山県製 革事業(協)	和歌山市 中央コミュニティセンター

3 伝統工芸品リバイバル支
援事業

3,108

2,975

伝統工芸品産業の振興を図るため、産地組合等が実施する後継者育成事業に対し、経費の一部を補助した。

- ・経済産業大臣指定伝統的工芸品
紀州漆器、紀州箆笥、紀州へら竿
- ・県知事指定郷土伝統工芸品
紀州へら竿、保田紙、御坊人形、皆地笠、那智黒硯、野鍛冶刃物、紀州雛、棕櫚箆
根来寺根来塗、紀州高野組子細工

4 起業家創出支援事業

16,231

16,154

県内に設置している起業家支援施設の入居者に対し、起業支援及び成長支援を行った。

- ・県立情報交流センターSOHOブース 6室
- ・わかやまビジネススクエア 25室

5 和歌山県産業表彰制度事
業

4,929

2,748

経営者や専門家等で構成する「和歌山県企業ソムリエ委員会」にて、次代の県経済をリードする企業1社を認定した。

6 中小企業支援センター事
業

55,992

46,074

（公財）わかやま産業振興財団に対し、県内中小企業等の事業の構想、準備から成長の各段階における人材・技術・資金・情報等の各種相談にワンストップで対応するための支援等に要する経費を補助した。

7	成長企業支援事業	63,969	58,636	<p>(公財)わかやま産業振興財団に対し、事業の成長・拡大・発展のために必要となる中核人材(プロフェッショナル人材)を求めている県内中小企業の支援に伴う経費を補助するとともに本県への中核人材のU I J ターンの促進等を図るため「プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度支援企業 10社 ・平成29年度プロフェッショナル人材戦略拠点相談件数 114件 ・平成29年度プロフェッショナル人材戦略拠点成約件数 26件
8	和歌山産品販促支援事業	44,958	43,969	<p>県内中小企業が持つ優れた製品や技術力をPRするために行う国内外の著名な展示会への集団出展をはじめとする販促活動に対し、経費の一部を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外展示会集団出展支援 14社2組合 ・海外展示会個別出展支援 7社 ・国内展示会集団出展支援 34社 ・大企業との商談会参加企業 5社
9	わかやま産業交流サロン事業	1,317	1,275	<p>県内企業の経営者・技術者・研究者等、約120人が出席し、平成29年7月、10月、12月に講演会と異業種交流会を開催した。</p>
10	わかやま地場産業ブランド力強化支援事業	86,346	60,088	<p>貸加工・下請型のビジネスモデルから脱却し、企画・提案型のビジネスモデルを目指す地場産業の企業等(平成27年度から平成29年度採択の21企業1グループ)に対し、経費の一部を補助した。</p>
11	販売力強化支援事業	7,544	7,150	<p>首都圏等での販路開拓を希望する企業に対し、営業拠点(わかやまビジネスサポートセンター)を提供し、専門家(ABC等)による支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居企業 平成29年8月31日まで6社、平成29年9月1日より8社
12	わかやま塾事業	5,585	5,501	<p>将来和歌山県を支え、世界にはばたくグローバル人材を育成するため、50歳未満の県内企業の経営者等を対象に「わかやま塾」を開講した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度開講回数 9回
13	ものづくり改善支援事業	7,256	5,401	<p>「ものづくり現場」で将来的に中核を担う「ひとづくり」を支援するため、「ものづくり経営改善スクール」と「インストラクター派遣事業」を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度スクール受講生 15人、インストラクター派遣者数 2社

産業技術政策課

I 工 鉱 業 総 務 費

1	新エネルギー創出促進事	1,265	1,241	和歌山県での新エネルギー活用を促進するため、太陽光発電事業等に係るワンストップ
---	-------------	-------	-------	---

業				サービスの提供などに取り組んだ。
2 海洋エネルギー創出促進事業	5,863	5,781		新たなエネルギー源として海洋エネルギーの開発と利用を促進するため、メタンハイドレート賦存量調査や海流発電の実証実験を行う事業者の誘致活動などに取り組んだ。
3 中小企業省エネ対策促進事業	15,263	13,012		県内企業の省エネ対策を促進するため、中小企業等が実施する効果的な省エネ設備の導入及び熱損失対策等に係る経費の一部を補助した。 ・補助金交付実績 19件 12,979
II 中小企業振興費				
1 知的財産戦略事業	17,588	15,709		県内中小企業等の産業競争力強化のため、和歌山県知的所有権センター及び（公財）わかやま産業振興財団が行う特許流通事業や特許情報活用支援事業への支援を行うとともに、知的財産セミナーを開催した。
2 先駆的産業技術研究開発支援事業	74,856	57,303		県内事業者が保有する技術シーズを活用して、商品化に向けた技術を確立するための研究開発に要する経費を補助した。 ・公募による申請件数 11件 ・採択事業件数 7件
3 冒認出願商標対策事業	1,000	823		中華人民共和国の冒認出願について、「和歌山」を含む商標の出願を1件、「紀州」を含む商標の出願を1件発見し、異議申し立てを行った。
4 新技術育成のための情報活用支援事業	1,900	1,430		（公財）わかやま産業振興財団に整備した商用データベースの利用環境を活用し、研究開発に取り組む中小企業に対し、新技術に関する学術情報や先行特許技術などの調査について支援を行った。
5 わかやまスタートアップ創出事業	4,998	2,145		県内経済の活性化・担い手の裾野拡張のため、県内での創業者等を対象に、経営戦略・経営実務など様々な観点からハンズオン支援等を実施した。
III 工業技術センター費				
1 地域産業活性化促進事業	161,136	151,982		技術相談・指導、研究開発、受託試験、研修生受入、技術情報の提供等を実施した。また、地域産業の活性化と新規産業の創出を支援するための機器整備を進めた。また、（公財）JKA補助事業を活用することで材料や製品の評価に有効な「フーリエ変換赤外分光光度計」を購入した。さらに「マイクロリアクターシステム」や「顕微分光システム」、「細胞破碎装置」を購入し、材料開発支援や消費者向け製品の高性能化の対応を強化した。 ・技術指導・相談件数 10,262件 ・受託試験件数 14,735件
2 コア技術確立事業	8,068	8,055		県内企業のニーズ調査や市場動向等により、今後5～10年先の県内企業の競争力の維持及び強化に必要な技術（コア技術）を3テーマ設定し、3か年の計画で研究開発を

開始した。

- ・テーマ1 「微生物による未利用資源の活用技術の開発」
(これまでの成果：取得した特許について、実施許諾契約を締結)
- ・テーマ2 「マイクロリアクターによる新規化学プロセスの構築」
(これまでの成果：新規な化学反応の開発に成功)
- ・テーマ3 「未利用光の有効活用～波長変換材料の開発～」
(これまでの成果：新規な変換材料の開発で特許出願を実施)

(前年度繰越分)

1 オープンラボ整備事業 167,680 121,345

企業支援ツールを集約した「オープンラボ整備」の一環として、食品産業界を対象とした「フードプロセッシングラボ」及び地場産業である皮革・繊維産業界を対象とした「レザー&テキスタイルラボ」の整備を行った。また、新たに5種の機器（「最適設計支援システム」、「PIV流速計測システム」、「深層学習システム」、「熱物性測定装置」、「画像処理システム」）を購入し、「3Dスマートものづくりラボ」の拡充を図った。

企業立地課

I 企業立地対策費

1 企業誘致活動事業 16,211 14,947

関西圏、首都圏を中心に積極的な企業訪問を実施するとともに、企業立地連絡協議会を通じ、企業情報の収集、各種資料の作成を行った。

2 企業立地促進対策助成事業 2,784,311 2,693,597

「企業立地促進対策要綱」に基づき、新規立地した誘致企業や増設した県内企業に対し優遇措置を行った。

3 企業立地促進資金融資事業 97,799 97,798

県内へ工場を新設する企業の設備投資等資金融資の償還金及び企業立地促進資金貸付基金運用利子の積み立てを行った。

4 企業誘致広報事業 6,916 6,832

本県の企業立地環境、企業用地等をまとめた「企業立地ガイド」、「用地位置図」の企業誘致資料の配布や新聞への広告掲載など本県の企業立地環境の広報を行った。

5 あやの台北部用地開発事業 52,838 52,805

ニーズの高い内陸型大規模用地確保を目的に南海電気鉄道(株)、橋本市及び県で共同開発するあやの台北部用地の環境影響評価の実施等について、事業主体の橋本市に支援を行った。

6 ICT和歌山事業 47,730 39,195

ICT企業のさらなる誘致に向け、新たな誘致拠点整備を支援するとともに、県外ICT企業の役員等の県内視察や開発合宿の実施を支援した。

観 光 振 興 課

I 物産観光幹旋費

1 観光センター運営事業	25,871	25,870	首都圏・東海圏における観光物産情報発信及び観光客誘致活動の拠点として、「わかやま紀州館」及び「名古屋観光センター」の運営を行った。
--------------	--------	--------	---

II 観 光 費

1 観光客誘致対策事業	96,982	95,184	県観光連盟、市町村及び各観光関係団体と連携し、観光客の誘致を図るため、情報誌の作成配布、観光情報の提供、観光統計調査を行った。
2 戦略的首都圏対策事業	27,000	27,000	首都圏における世界遺産「高野山・熊野」等本県への誘客活動及び「わかやま紀州館」の機能強化を行った。
3 わかやま「観光力」推進事業	151,300	148,489	本県が有する多彩な観光資源を活用し、地域が一体となって魅力ある観光地づくりに取り組むとともに、戦略的な観光プロモーションを行った。
4 世界遺産推進事業	21,135	18,984	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」についての情報発信及び世界遺産の保全・活用の推進を行った。
5 和歌山県世界遺産センター運営事業	11,730	10,527	世界遺産の保全・活用及び情報発信の活動拠点である「和歌山県世界遺産センター」の運営を行った。
6 体験観光魅力アップ事業	7,550	6,101	観光客の滞在時間延長、リピーター増加のため、体験プログラムの魅力発信や受入体制の充実を図った。
7 バスを利用した観光ルート形成事業	5,843	4,000	旅行者にとって便利なアクセスバスルートを形成し、世界遺産地域の周遊を促進するため、情報発信等を行った。
8 「水の国、わかやま。」キャンペーン事業	29,500	29,406	「水」をテーマに、まだ知られていない「和歌山の魅力」を発信するため、世界遺産をはじめとするブランドと組み合わせた新たな誘客促進事業を行った。
9 日本遺産推進事業	14,000	14,000	日本遺産「鯨とともに生きる」を活用し、世界遺産の熊野三山・熊野古道及び南紀ジオパークと絡めた滞在型の周遊ルートの構築を行った。
10 熊野古道周遊拡大事業	40,000	31,911	熊野古道沿いの新たな魅力の創出と地域の方々がすすめる新たな魅力を収集し、WEBサイトでの情報発信に加え、大辺路ルートの受入体制の整備を行った。
11 わかやま歴史物語事業	27,800	27,288	歴史・文化をテーマに様々な地域資源を盛り込んだ「100の旅モデル」をWEBサイト等により情報発信し県内周遊促進を行った。
12 サイクリング王国わかやま事業	15,000	14,963	「和歌山」＝「サイクリングの最適地」のイメージを定着させるとともに、県内の周遊促進・滞在時間の延長を図るため情報発信及びサイクリング環境を充実させた。

観 光 交 流 課

I 観 光 費

1	国際観光推進事業	69,772	69,103
2	教育旅行誘致推進事業	10,422	9,615
3	外国人観光客受入環境整備事業	14,876	14,371
4	観光施設整備補助事業	48,225	46,792
5	F I T（外国人個人観光客）誘客促進事業	15,000	14,999
6	インバウンド受入サービス高度化事業	2,686	2,675
7	インバウンド受入環境高度化事業	8,000	8,000
8	インバウンド観光戦略事業	15,000	14,544

東アジア、東南アジア及び欧米豪など各市場ごとの嗜好と旅行熟度に応じた方法により、海外旅行エージェントやメディアの招請、海外でのプロモーション等を実施し、観光客の誘致に努めた。

首都圏や関西圏に加えて、中京圏、中国圏からの修学旅行の誘致拡大を図るため、P R イベントやアピールキャラバン隊によるプロモーションを実施するとともに、現地での下見支援や受入地域合同研究会の実施など、受入態勢の充実を図った。

	来県校数	首都圏	中京圏	関西・中国圏	その他
H29	66	12	7	46	1

外国人観光客が快適・安心・安全に県内を周遊できる環境を整備するため、ガイドブックなどを整備・充実するとともに、和歌山県版通訳ガイドの育成を行った。

おもてなしの観点から、多言語案内表示整備など快適な観光空間の創造に資する観光施設の整備を実施する市町村へ補助を行った。

F I T（外国人個人観光客）の誘客を促進するため、各市場ごとの成熟度に応じた手法によるメディア露出を展開し、本県の知名度向上を図った。

外国人観光客が快適・安心・安全に県内を周遊できる環境を整備するため、観光関係事業者向けの多言語電話通訳・簡易翻訳サービスを実施した。

外国人観光客の公共交通機関を利用したスムーズな移動の確保のため、分かりやすい案内表示の整備や公共交通を活用した観光ルートの情報発信を行った。

外国人観光客の長期滞在型周遊観光を促進し、旅行消費額を増やすため、新規市場の開拓や富裕層をターゲットとした誘客活動を行った。